

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年11月12日 (2015.11.12)

【公開番号】特開2015-154860(P2015-154860A)

【公開日】平成27年8月27日 (2015.8.27)

【年通号数】公開・登録公報2015-054

【出願番号】特願2014-31147(P2014-31147)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 4 G

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月29日 (2015.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、
前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、
表示結果が導出される前に、入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段と、

表示結果を導出させるための導出操作を受付ける導出操作受付手段と、

有効期間において前記導出操作受付手段が導出操作を受付けたときに、前記事前決定手段の決定結果に応じて表示結果を導出する制御を行う導出制御手段と、

前記事前決定手段によって入賞について発生を許容するか否かの決定がなされた後に、非有効期間から有効期間に移行させる制御を行う有効期間制御手段と、

導出操作の操作態様を報知する操作態様報知手段と、を備え、

前記導出制御手段は、前記事前決定手段の決定結果が特定決定結果となったときに、特定操作態様で導出操作が受けられると特定表示結果を導出し、特定操作態様とは異なる操作態様で導出操作が受けられると特定表示結果とは異なる表示結果を導出し、

前記操作態様報知手段は、前記事前決定手段の決定結果が前記特定決定結果であるときに、前記有効期間制御手段によって非有効期間から有効期間に移行されるタイミングよりも前の所定タイミングまで第 1 報知態様で前記特定操作態様を報知するとともに、前記所定タイミングよりも後のタイミングから第 2 報知態様で前記特定操作態様を報知する

ことを特徴とするスロットマシン。

【請求項 2】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

表示結果が導出される前に、入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段と、

前記可変表示部の変動表示を開始させるための開始操作を受付ける開始操作受付手段と

、
表示結果を導出させるための導出操作を受付ける導出操作受付手段と、
有効期間において前記導出操作受付手段が導出操作を受付けたときに、前記事前決定手段の決定結果に応じて表示結果を導出する制御を行う導出制御手段と、
前記開始操作が受け付けられて前記可変表示部の変動表示を開始させた後に、非有効期間から有効期間に移行させる制御を行う有効期間制御手段と、
導出操作の操作態様を報知する操作態様報知手段と、を備え、
前記導出制御手段は、前記事前決定手段の決定結果が特定決定結果となったときに、特定操作態様で導出操作が受けられると特定表示結果を導出し、特定操作態様とは異なる操作態様で導出操作が受けられると特定表示結果とは異なる表示結果を導出し、
前記操作態様報知手段は、前記事前決定手段の決定結果が前記特定決定結果であるときに、前記開始操作受付手段が開始操作を受付けたタイミングから前記特定操作態様の報知を開始し、前記可変表示部の変動表示を開始させる変動表示開始タイミングまで第１報知態様で前記特定操作態様を報知するとともに、前記変動表示開始タイミングから第２報知態様で前記特定操作態様を報知すること
ことを特徴とするスロットマシン。

【請求項３】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、
前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、
表示結果が導出される前に、入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段と、
前記可変表示部の変動表示を開始させるための開始操作を受付ける開始操作受付手段と

、
表示結果を導出させるための導出操作を受付ける導出操作受付手段と、
有効期間において前記導出操作受付手段が導出操作を受付けたときに、前記事前決定手段の決定結果に応じて表示結果を導出する制御を行う導出制御手段と、
前記開始操作が受け付けられて前記可変表示部の変動表示を開始させた後に、非有効期間から有効期間に移行させる制御を行う有効期間制御手段と、
導出操作の操作態様を報知する操作態様報知手段と、を備え、
前記導出制御手段は、前記事前決定手段の決定結果が特定決定結果となったときに、特定操作態様で導出操作が受けられると特定表示結果を導出し、特定操作態様とは異なる操作態様で導出操作が受けられると特定表示結果とは異なる表示結果を導出し、
前記操作態様報知手段は、前記事前決定手段の決定結果が前記特定決定結果であるときに、前記開始操作受付手段が開始操作を受付けたタイミングから前記特定操作態様の報知を開始し、前記有効期間制御手段によって非有効期間から有効期間に移行される有効期間移行タイミングまで第１報知態様で前記特定操作態様を報知するとともに、前記有効期間移行タイミングから第２報知態様で前記特定操作態様を報知すること
ことを特徴とするスロットマシン。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

(１) 上記目的を達成するため、本発明の第１の観点に係るスロットマシンは、
各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部（例えば、リール２Ｌ、２Ｃ、２Ｒ）を備え、
前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシン（例えば、スロットマ

シン１）において、

表示結果が導出される前に、入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段（例えば、メイン制御部４１が実行するステップＳｄ２の処理）と、

表示結果を導出させるための導出操作（例えば、ストップスイッチ８Ｌ、８Ｃ、８Ｒの操作）を受付ける導出操作受付手段（例えば、メイン制御部４１が実行するステップＳｋ２１の処理）と、

有効期間（例えば、原点通過時処理が実行されてストップスイッチ８Ｌ、８Ｃ、８Ｒの操作が有効化された期間）において前記導出操作受付手段が導出操作を受付けたときに、前記事前決定手段の決定結果に応じて表示結果を導出する制御を行う導出制御手段（例えば、メイン制御部４１が実行するステップＳｋ２３～Ｓｋ２５の処理）と、

前記事前決定手段によって入賞について発生を許容するか否かの決定がなされた後に、非有効期間（例えば、原点通過時処理が実行される前のストップスイッチ８Ｌ、８Ｃ、８Ｒの操作が無効化された期間）から有効期間に移行させる制御を行う有効期間制御手段（例えば、メイン制御部４１が実行するステップＳｋ２０の処理）と、

導出操作の操作態様を報知する操作態様報知手段（例えば、サブ制御部９１が実行するステップＳｅ１０、Ｓｅ１３、Ｓｆ１～Ｓｆ４の処理）と、を備え、

前記導出制御手段は、前記事前決定手段の決定結果が特定決定結果（例えば、押し順リプレイや押し順ベルに内部当選）となったときに、特定操作態様（例えば、正解の押し順）で導出操作が受け付けられると特定表示結果（例えば、押し順不正解時の入賞役よりも遊技者にとって有利な入賞役）を導出し、特定操作態様とは異なる操作態様で導出操作が受け付けられると特定表示結果とは異なる表示結果（例えば、押し順不正解時の入賞役）を導出し、

前記操作態様報知手段は、前記事前決定手段の決定結果が前記特定決定結果であるときに、前記有効期間制御手段によって非有効期間から有効期間に移行されるタイミングよりも前の所定タイミング（例えば、原点通過時処理を実行する直前のタイミング）まで第１報知態様（例えば、小ナビ画像５０１、５０３、５０５、５０７を液晶表示器５１に表示する態様）で前記特定操作態様を報知するとともに（例えば、サブ制御部９１がステップＳｆ１、Ｓｆ２の処理を実行するとともに）、前記所定タイミングよりも後のタイミングから第２報知態様（例えば、大ナビ画像５０２、５０４、５０６、５０８を液晶表示器５１に表示しつつナビ音声をスピーカ５３、５４から出力する態様）で前記特定操作態様を報知する（例えば、サブ制御部９１がステップＳｆ１、Ｓｆ３、Ｓｆ４の処理を実行する）

ことを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２７】

このような構成によれば、再遊技表示結果が導出された後であっても、投入された遊技媒体が、再遊技導出時更新手段による賭数の更新が開始されてから検出された遊技媒体であることにより、当該遊技媒体に応じて遊技用価値を更新することができる。このため、再遊技表示結果が導出された後における遊技用価値の更新が賭数の設定よりも先に行われることを防止できる。その結果、違和感を抱かせることなく、再遊技表示結果が導出された後における遊技者の利便性を向上させることができる。また、再遊技表示結果が導出された後において遅延制御が行われ、遊技媒体が投入されて遊技媒体検出手段による検出結果が解除用結果となることで遅延制御が解除される。これにより、遊技者に対して、再遊技表示結果が導出されることにより賭数が更新される場合においても、遊技媒体を投入しなければ次のゲームを開始できず、遊技媒体が投入されたことにより次のゲームを開始できるようになったように思わせることができる。

(1 1) 上記目的を達成するため、本発明の第 2 の観点に係るスロットマシンは、

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部（例えば、リール 2 L、2 C、2 R）を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシン（例えば、スロットマシン 1）において、

表示結果が導出される前に、入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段（例えば、メイン制御部 4 1 が実行するステップ S d 2 の処理）と、

前記可変表示部の変動表示を開始させるための開始操作（例えば、スタートスイッチ 7 の操作）を受付ける開始操作受付手段（例えば、メイン制御部 4 1 が実行するステップ S k 2 1 の処理）と、

表示結果を導出させるための導出操作（例えば、ストップスイッチ 8 L、8 C、8 R の操作）を受付ける導出操作受付手段（例えば、メイン制御部 4 1 が実行するステップ S k 2 1 の処理）と、

有効期間（例えば、原点通過時処理が実行されてストップスイッチ 8 L、8 C、8 R の操作が有効化された期間）において前記導出操作受付手段が導出操作を受付けたときに、前記事前決定手段の決定結果に応じて表示結果を導出する制御を行う導出制御手段（例えば、メイン制御部 4 1 が実行するステップ S k 2 3 ~ S k 2 5 の処理）と、

前記開始操作が受けられて前記可変表示部の変動表示を開始させた後に、非有効期間（例えば、原点通過時処理が実行される前のストップスイッチ 8 L、8 C、8 R の操作が無効化された期間）から有効期間に移行させる制御を行う有効期間制御手段（例えば、メイン制御部 4 1 が実行するステップ S k 2 0 の処理）と、

導出操作の操作態様を報知する操作態様報知手段（例えば、サブ制御部 9 1 が実行するステップ S e 1 0、S e 1 3、S f 1 ~ S f 4 の処理）と、を備え、

前記導出制御手段は、前記事前決定手段の決定結果が特定決定結果（例えば、押し順リプレイや押し順ベルに内部当選）となったときに、特定操作態様（例えば、正解の押し順）で導出操作が受けられると特定表示結果（例えば、押し順不正解時の入賞役よりも遊技者にとって有利な入賞役）を導出し、特定操作態様とは異なる操作態様で導出操作が受けられると特定表示結果とは異なる表示結果（例えば、押し順不正解時の入賞役）を導出し、

前記操作態様報知手段は、前記事前決定手段の決定結果が前記特定決定結果であるときに、前記開始操作受付手段が開始操作を受付けたタイミング（例えば、サブ制御部 9 1 が内部当選コマンドを受信したタイミング、遊技者によってスタートスイッチ 7 が操作されたタイミング）から前記特定操作態様の報知を開始し、前記可変表示部の変動表示を開始させる変動表示開始タイミング（例えば、サブ制御部 9 1 がリール回転開始コマンドを受信したタイミング）まで第 1 報知態様（例えば、小ナビ画像 5 0 1、5 0 3、5 0 5、5 0 7 を液晶表示器 5 1 に表示する態様）で前記特定操作態様を報知するとともに（例えば、サブ制御部 9 1 がステップ S f 1、S f 2 の処理を実行するとともに）、前記変動表示開始タイミングから第 2 報知態様（例えば、大ナビ画像 5 0 2、5 0 4、5 0 6、5 0 8 を液晶表示器 5 1 に表示しつつナビ音声をスピーカ 5 3、5 4 から出力する態様）で前記特定操作態様を報知する（例えば、サブ制御部 9 1 がステップ S f 1、S f 3、S f 4 の処理を実行する）

ことを特徴とする。

このような構成によれば、導出操作を受付ける有効期間に基づく報知態様の変化を遊技者が認識することにより、遊技者に対して特定操作態様を認識させつつ導出操作手段の操作が有効になるタイミングを示唆することができるので、報知態様が変化しないスロットマシンよりも遊技者の負担を軽減できる。

(1 2) 上記目的を達成するため、本発明の第 3 の観点に係るスロットマシンは、

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部（例えば、リール 2 L、2 C、2 R）を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシン（例えば、スロットマシン１）において、

表示結果が導出される前に、入賞について発生を許容するか否かを決定する事前決定手段（例えば、メイン制御部４１が実行するステップＳｄ２の処理）と、

前記可変表示部の変動表示を開始させるための開始操作（例えば、スタートスイッチ７の操作）を受け付ける開始操作受付手段（例えば、メイン制御部４１が実行するステップＳｋ２１の処理）と、

表示結果を導出させるための導出操作（例えば、ストップスイッチ８Ｌ、８Ｃ、８Ｒの操作）を受け付ける導出操作受付手段（例えば、メイン制御部４１が実行するステップＳｋ２１の処理）と、

有効期間（例えば、原点通過時処理が実行されてストップスイッチ８Ｌ、８Ｃ、８Ｒの操作が有効化された期間）において前記導出操作受付手段が導出操作を受け付けたときに、前記事前決定手段の決定結果に応じて表示結果を導出する制御を行う導出制御手段（例えば、メイン制御部４１が実行するステップＳｋ２３～Ｓｋ２５の処理）と、

前記開始操作を受け付けられて前記可変表示部の変動表示を開始させた後に、非有効期間（例えば、原点通過時処理が実行される前のストップスイッチ８Ｌ、８Ｃ、８Ｒの操作が無効化された期間）から有効期間に移行させる制御を行う有効期間制御手段（例えば、メイン制御部４１が実行するステップＳｋ２０の処理）と、

導出操作の操作態様を報知する操作態様報知手段（例えば、サブ制御部９１が実行するステップＳｅ１０、Ｓｅ１３、Ｓｆ１～Ｓｆ４の処理）と、を備え、

前記導出制御手段は、前記事前決定手段の決定結果が特定決定結果（例えば、押し順リプレイや押し順ベルに内部当選）となったときに、特定操作態様（例えば、正解の押し順）で導出操作を受け付けられると特定表示結果（例えば、押し順不正解時の入賞役よりも遊技者にとって有利な入賞役）を導出し、特定操作態様とは異なる操作態様で導出操作を受け付けられると特定表示結果とは異なる表示結果（例えば、押し順不正解時の入賞役）を導出し、

前記操作態様報知手段は、前記事前決定手段の決定結果が前記特定決定結果であるときに、前記開始操作受付手段が開始操作を受け付けたタイミング（例えば、サブ制御部９１が内部当選コマンドを受信したタイミング、遊技者によってスタートスイッチ７が操作されたタイミング）から前記特定操作態様の報知を開始し、前記有効期間制御手段によって非有効期間から有効期間に移行される有効期間移行タイミング（例えば、サブ制御部９１が有効状態特定コマンドを受信したタイミング、原点通過時処理が完了したタイミング）まで第１報知態様（例えば、小ナビ画像５０１、５０３、５０５、５０７を液晶表示器５１に表示する態様）で前記特定操作態様を報知するとともに（例えば、サブ制御部９１がステップＳｆ１、Ｓｆ２の処理を実行するとともに）、前記有効期間移行タイミングから第２報知態様（例えば、大ナビ画像５０２、５０４、５０６、５０８を液晶表示器５１に表示しつつナビ音声をスピーカ５３、５４から出力する態様）で前記特定操作態様を報知する（例えば、サブ制御部９１がステップＳｆ１、Ｓｆ３、Ｓｆ４の処理を実行する）

ことを特徴とする。

このような構成によれば、導出操作を受け付ける有効期間に基づく報知態様の变化を遊技者が認識することにより、遊技者に対して特定操作態様を認識させつつ導出操作手段の操作が有効になるタイミングを示唆することができるので、報知態様が変化しないスロットマシンよりも遊技者の負担を軽減できる。